

血液疾患患者の免疫プロファイル解析

1. 研究の対象

良性造血器疾患(再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、免疫疾患など)または、白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫に代表される骨髄・リンパ性悪性造血器疾患で通院中の方、同種造血幹細胞移植ドナーとなる方

2. 研究目的・方法

近年の解析技術の進歩により、免疫の機能や反応を詳細に解析する事が可能となってきました。本研究では、①感染症の合併、ワクチンの有効性、病気の予後、治療の有効性を予測する事の出来る検査項目を見つける事 ②新しい治療開発につながる未知のメカニズムを見つける事 を目的として研究を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料:採血・骨髄穿刺・骨髄生検を行う際の残余検体、手術に伴って摘出された生検検体、体液(胸水、腹水、髄液など)、造血幹細胞採取時の細胞処理後の採取バックに残った細胞
情報:血液・画像などの検査データ、既往歴、治療内容、合併症、年齢、性別等の電子カルテ上の臨床データ

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関である大阪大学 免疫フロンティア研究センターで解析を行う事があります。検体は提供先では個人が特定できない形で搬送します。

5. 研究組織

研究責任者: 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 保仙 直毅(教授)

研究代表施設: 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科

研究代表者: 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 保仙 直毅(教授)

共同協力機関・共同協力機関責任者:

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学・加藤 保宏(特任助教)

大阪大学 免疫フロンティア研究センター 保仙 直毅(教授・兼任)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 一井倫子(助教)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 TEL:06-6879-3871 FAX:06-6879-3879